

古事類苑

封祿部二

位封

位封ハ諸王諸臣ノ位階ニ從ヒテ給スル所ノ封戸ナリ、又有品親王ノ品階ニ由リテ給スルヲ品封ト云フ、而シテ無品親王ニ給スルハ、品封ノ類トス、

位封ハ孝徳天皇ノ朝ニ始マリテ、大夫五位以上ニ給セシヲ、文武天皇ノ大寶年間ニ至リ、三位以上ニ止マリ、四位五位ニハ位祿ヲ以テセシガ、慶雲三年ニ、每位ニ其封戸ノ數ヲ益シ、且ツ四位マデニ給ヒ、位祿ハ五位ノ一位ニ止マル、然ルニ平城天皇ノ大同三年ニ、大寶ノ舊ニ復セリ、中世ニ至リテハ、品封モ位封モ其戸數減省セリ、有品ノ親王剃髪スレバ、定額ノ封ヲ收メ、更ニ無品親王ノ封ヲ給ス、無品親王ノ封ハ、令ニ定制ナシ、類聚三代格、大同四年六月二十三日ノ太政官奏ニ引ク所ノ大同三年六月二十九日ノ式ニハ、無品親王食封二百戸、男女並相同トアリ、

婦女ノ位封ハ、男子ノ半ヲ受クルコトニテ、内親王ノ品封モ亦之ニ同ジ、然レドモ妃、夫人、嬪ノ位封ハ全給スルナリ、尚藏、尚侍ノ位封モ、舊ハ減半ナリシヲ、淳仁天皇ノ天平寶字四年ヨリ全給セリ、

散位ノ位封ハ、無故不上二年ノ後ニ給スルコトヲ停ムル法ニシテ、在任ノ人ノ位封ハ、百二十日不上ナレバ給セザルコト・ス、又封主身歿スレバ、當年ノ封ハ即チ收メズシテ、全ク喪